

[2010年11月19日]

WHO事務局長チャン氏「世界の健康障害に対し日本の戦後医療改革目標になる」 来日を機に東京女子医大で公開講演

菅直人総理大臣をはじめとするわが国の政府関係者との会談のため、世界保健機関（WHO）事務局長のマーガレット・チャン氏が来日した。同氏の来日は2008年11月以来だが、公式訪問は今回が初めて。昨日（11月18日）、東京都で開かれた公開講演会（後援＝厚生労働省、読売新聞）では、開発途上国で顕著な女性の健康障害や、貧富の格差による健康障害に直面している現在、これらを絶つ上で戦後日本が成し遂げた国民皆保険制度をはじめとする医療改革が目標になると述べた。



グローバル化で危機が連鎖的に起こる

チャン氏の演題は“Health promises and perils in an interdependent world: breaking the cycle of poverty, misery, and illness”。同氏は世界が抱える2つの健康障害に言及した。

1つは、特に発展途上国に多く見られる女性の健康障害である。昨年（2009年）、WHOでは初の女性の健康に関する報告書を出した。特に途上国では出産に伴う妊婦の死亡リスクが極めて高く、「これは医療の問題というよりは、社会的・政治的な問題だ。女性の社会的・経済的自立の低さは、健康障害と関連している」と述べ、女性の社会的・経済的自立の重要性を訴えた。

2つ目は、疾病構造の世界的変化と、国や国民における貧富の差が生み出す医療格差である。これまで、欧米に見られた生活習慣病は、伝統食と欧米食の摂取頻度が逆転したことで、むしろアジア諸国で急増しており、途上国地域では医療費がかかる生活習慣病に対し、十分な治療が受けられないという問題が生じている。

到達しうる最高基準の健康享有を基本的権利とするWHO憲章だが、現実には1人当たりの医療政策費は最低10ドルから最高で7,000ドル超と各国で異なるため、医療格差の存在は否めない。さらに、グローバル化が進んだことで、エネルギー、食料、経済などのさまざまな危機に直面した場合、当事国やその周辺国だけでなく世界中で連鎖的に影響を受けるようになったと同氏は指摘している。ここでも、最も打撃を受けるのは発展途上国なのだが、医療の分配は社会の安定につながる重要課題であると強調。同氏は演題にもある「貧困と病気の連鎖を絶つ」には、戦後日本が成し遂げた国民皆保険制度などの医療改革が目標になると述べた。

わが国のH1N1／2009対策を評価

講演会終了後、記者会見が行われた。内容については以下の通り。



マーガレット・チャン氏

—ハイチで拡大しているコレラ菌の感染状況は、WHOの対策はどうなっているのか。

ハイチはもともと水道、医療などのインフラ整備が弱っただけに、今回の地震でこれらの施設や設備が破壊されたことで受けた打撃は大きい。現在もハイチは劣悪な衛生状態にあり、医療資源が不足している。そのため、コレラ菌の鎮圧は非常に難しいというのが実情だが、国連や各国政府、各団体による医薬品、救援物資の提供のほか、多数の人員による救援活動体制が敷かれ、コレラ菌の蔓延阻止に向けた取り組みが続いている。

—今期のインフルエンザの型は。

各国によって流行株が異なるが、今期は新型インフルエンザ株（H1N1／2009）、A／H3N2、B型の混合が観測される。季節性インフルエンザワクチンの積極的な予防接種の推進をお願いしたい。昨年（2009年）、新型インフルエンザが世界的に流行し死亡例も発生したが、死亡率を各国と比較すると日本が最も低かった。つまり、日本政府の迅速な判断と政策決定が効を奏した。批判もあったようだが、全体的に見ると非常に正しい判断であったと思う。

—近年、日本では経済格差による医療の不平等という問題が生じている。WHOはどう考えるか。

講演でも述べたが、現状を言えば、どの国にも医療の不平等という問題が存在する。多くのデータでも示されているが、貧困と不健康は関連し、経済的に貧しい人ほど多くの疾病を抱えている。貧困に加齢因子が加わると慢性疾患が増え、さらに不平等が加速する。国民皆保険制度がない国に比べると、日本はまだ良いほうだが、国民皆保険制度下の平等が存在するのも事実だ。つまり、疾病をもたらす健康障害の大きさは、高・低所得者層、年齢層の違いなどで変わるため、不平等が生じる。日本は自国でこの問題を解決できると思うが、こういった集団を対象にアドバイスしていくのもWHOの役目だ。

(田上 玲子)

関連記事

- ▶ [Topics／2010/11シーズンのインフルエンザワクチン株決定／香港型、B型ワクチンにも新たな課題](#) [2010年11月11日]
- ▶ [いくつ分かりますか？ 11の「初めて」があった2009年パンデミック／香港、欧州当局の専門家が総括](#) [2010年10月12日]
- ▶ [A/H1N1/2009はポストパンデミック期／終息ではなく引き続き流行再発への備えを](#) [2010年9月16日]
- ▶ [WHOが新型インフル「パンデミック」終了宣言／ポストパンデミックへ](#) [2010年8月11日]
- ▶ [MTインタビュー／国際緊急援助隊医療チームの活動を振り返る／首都機能が壊滅したハイチ大地震災害](#) [2010年2月25日]
- ▶ [「予想以上に大規模な惨状」ハイチ援助隊医療チームが帰国／畑副団長「いままでで最もつらい現場」](#) [2010年2月1日]
- ▶ [\[参院選特別企画\]各政党に医療政策方針を聞く／<4>その他](#) [2010年6月17日]

関連リンク

- ▶ [世界保健機関 \(WHO\)](#)

 [TOPページに戻る](#)